

# 曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

## 曾於市の新しい顔です



写真左から柿内佑美さん、川井田夏帆さん、西南月さん、大村由加里さん、赤池良美さん

4月26日、末吉総合センターで平成24年度そお市レディーの委嘱状交付式・退任式が行われました。

そお市レディーは、各種イベントや物産展などを通じて、曾於市の広報PR活動を2年間にわたって行っていただく観光協会が行う事業です。今回は、前任の赤池良美さんと大村由加里さんが任期満了により退任されることに伴い、新たにそお市レディーへ就任される西南月さんと川井田夏帆さんへ委嘱状が交付されました。

式では始めに赤池さんと大村さんへ花束が贈呈された後、新たに就任するそお市レディーへ委嘱状が交付され、「多くの方に曾於市をPRできるようがんばります。」など抱負を話されました。

## 上町土地区画整理事業竣工記念碑除幕式



4月26日、上町にここ公園で上町土地区画整理事業竣工記念碑の除幕式が行われました。

この事業は、健全なる新市街地の造成を行い、宅地の高度利用を図ることを目的として、昭和60年度から平成23年度までの26年間にわたって施行されました。

当日は、上町土地区画整理事業推進協議会員、上町土地区画整理審議会員、地元自治会長など41名が出席されました。

パンフレットに掲載された施行前の上町地区の写真と見比べて、すっかり様変わりした街の様子に、出席された方々は感慨深げな表情を浮かべていました。

## キャンピングカーをより身近に



「テントむし」のミニカーをプレゼントする見上社長(右)

4月17日、バンショップ・ミカミ(財部町中谷)の社長・見上喜美雄さんが市長室を訪問され、第4回ものづくり日本大賞で九州経済産業局長賞を受賞されたことを報告されました。

この賞は、日本の産業・文化を支えてきた「ものづくり」を支える人材の意欲を高め、その存在を広く社会に周知することを目的としています。今回は、「他社の革新的商品と融合させた独創的軽キャンピングカーのシリーズ展開」が評価されての授賞となりました。

同社の軽キャンピングカー「テントむし」は今までに約400台を売り上げています。見上社長は「今後も、お客さんの要望に応える楽しい車をつくりたい」と抱負を述べられていました。

## 絵本でみんなを笑顔に



スクリーンを使って読み聞かせをする長谷川義史さん

4月22日、曾於市立図書館本館で絵本作家長谷川義史さんの絵本ライブが開催されました。

長谷川さんは、大胆なタッチの絵にユーモアあふれる独特のストーリーが持ち味で、「ぼくがラーメンをたべているとき」で日本絵本賞を受賞された今人気の絵本作家です。

東日本大震災で被災した小学校等でも読み聞かせを行っており、その子供たちを思って描いた作品「ラーメンちゃん」も発表しています。

当日は、絵本の読み聞かせに加えて、即興紙芝居や絵本の世界観にウクレレで伴奏をつけるなどのパフォーマンスも披露されました。ユーモラスな語り口調で展開されていく、「長谷川ワールド」に約100名のお客さんは引き込まれていきました。

参加したみなさんの笑顔が印象に残るとても素敵な90分間でした。

## 施設利用で地域に元気を！



4月29日、末吉総合センターでNPO法人そお文化村主催の「スプリングフェスタ」が開催されました。

当日は、約200人のお客さんが集まり、フリーマーケットや特産品の販売、絵画展、メセナ楽団による演奏を楽しんでいました。

そお文化村は、「施設を利用した地域の活性化」を目的として、今年の3月16日に設立されたNPO法人です。代表の児玉勝雄さんは、「もっと多くの人たちが参加してもらえるようなイベントを計画して、地域の活性化に役立ちたい」と抱負を述べられていました。

なお、次のイベント開催は10月の予定です。

## 横山食品株式会社

## 2回目の工場増設へ



4月20日、市役所において横山食品株式会社との立地協定調印式がありました。

横山食品株式会社は、国内産のさつまいも加工品の専門メーカーとして昭和49年10月に高知県で設立された会社で、芋けんぴを始めとする加工品は、全国の大手スーパー、コンビニエンスストア等で広く販売されています。

平成14年に曾於市（当時は末吉町）に新工場を設置した後、順調に業績を伸ばし、平成21年の1回目の増設に続き、今回は2回目の工場増設となりました。

今後、雇用の創出や曾於市ブランドの確立の一翼を担う企業として、地域のイメージの向上、地域経済の浮揚・発展に貢献することが期待されます。

## 緑を通じて心豊かな人間に



恒吉小緑の少年団が、4月29日に開催された2012緑の感謝祭（県民の森）で表彰されました。

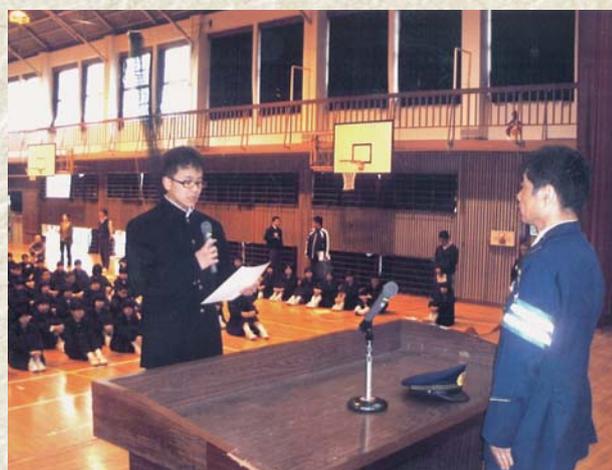
これは同団が、長年にわたり緑化活動に積極的に取り組み、「みどりづくり」に大きく貢献したことを評価されてのことです。

恒吉小緑の少年団は昭和58年に結成され、今年で30周年を迎えます。恒吉小学校の全児童16名が加盟しており、緑化活動だけではなく、地域のイベントで募金活動等も行っています。

昨年は、国際森林記念「緑の少年団国際交流事業」へ県を代表して参加し、ロシアのハバロフスクで緑を守る活動を通じて友好の和を広げたそうです。

恒吉の美しい緑は、きっと彼らによって守られていくことでしょう。

## 自転車盗難防止モデル校 財部中学校



4月11日、財部中学校体育館で自転車盗難防止モデル校指定の交付式がありました。

このモデル校指定は、中学生の防犯意識を醸成し、自転車盗難の抑止を図るためのものです。

現在、財部中学校は全生徒の約70パーセントが自転車通学です。指定を受けた財部中学校を代表して、3年の切通康太さんが「防犯登録をすることやワイヤー錠で二重ロックをすること、決められた場所への駐輪の徹底」を宣言しました。

浦嶋一生署長は昨年、12件の自動車盗難が発生したことを紹介。「模範となって、防止策に取り組んで欲しい」と述べました。

皆さんも防犯登録や二重ロックを徹底しましょう。

## 曾於市観光ツアーが本格始動



笠祇神社と巨木スダジイ



ひょっとこ踊り (末吉ひょっとこ踊り同好会)



ツアー客によるゴッタン体験



ゴッタンの演奏 (ふるさとを思いやるゴッタンクラブ)

平成 24 年度、曾於市観光特産開発センターは、12 コースのツアーを企画し、鹿児島県旅行業組合に集客等を依頼しました。この 12 コース全てが、鹿児島中央駅から大型バスが発着するもので、鹿児島市周辺の住民や新幹線客を狙ったものです。

その第 1 弾が、4 月 29 日、曾於市を訪れました。ツアー名は「曾於で見て泣いて笑って感激」で、内容は「笠祇神社と巨木スダジイ」「弥五郎伝説の里公園」「ひょっとこ踊り」「荒武タミさんとゴッタン」「道の駅で買い物」と盛りだくさんの内容でした。

ツアー客の大半は鹿児島市からの方で、指宿市と日置市の人もおられたようです。あるお客さんからは、「地元密着型で地域の人々の温もりを感じました。また曾於市に行きたいです」との感想を頂きました。

アンケート結果によると、「満足した」85%、「普通」15%、「満足しなかった」0%で、おおむね満足頂けたようです。これらツアー客の反応から、今後の曾於市観光推進に一層拍車がかかったようです。

また、開発センターの吉川所長は「多くの人の協力があって始めて観光は成立する。協力して下さるひょっとこ同好会、ゴッタンクラブ、観光ボランティアガイドの皆様へ感謝です」と受入側の体制整備を重要視していました。

## 日本とアメリカの架け橋



曾於市教育委員会で ALT をされているクレイグ・ティドウェルさんがアメリカの知人から預かっていた日章旗の持ち主が分かり、この度、遺族の元へ返還される運びとなりました。

この日章旗は第 2 次世界大戦中、出征する際に贈られたものと思われます。所有者は知人の祖父であり、クレイグさんは日本語が堪能なことから、その解説を依頼されていたそうです。

クレイグさんは「これでやっと遺族の元へ返すことができる」と安堵の表情で述べられていました。今後は、厚生労働省を通じて、遺族へ返還されることとなります。